

中間連結財務諸表の作成方針

(1) 連結の範囲に関する事項

- ① 連結される子会社及び子法人等 4社

会社名

株式会社 とちぎんビジネスサービス

株式会社 とちぎん集中事務センター

株式会社 とちぎんカード・サービス

株式会社 とちぎんリーシング

- ② 非連結の子会社及び子法人等

該当ありません。

(2) 持分法の適用に関する事項

- ① 持分法適用の非連結の子会社及び子法人等、関連法人等

該当ありません。

- ② 持分法非適用の非連結の子会社及び子法人等、関連法人等

該当ありません。

(3) 連結される子会社及び子法人等の中間決算日等に関する事項

連結される子会社及び子法人等の中間決算日は次のとおりであります。

9月末日

4社

第105期 中間決算公告

栃木県宇都宮市西2丁目1番18号
株式会社 栃木銀行
取締役頭取 小林 辰興

中間連結損益計算書 [平成19年4月 1日から
平成19年9月30日まで]

(単位：百万円)

科 目	金 額	
経 常 収 益		28,953
資 金 運 用 収 益	21,150	
(うち貸出金利息)	(17,098)	
(うち有価証券利息配当金)	(3,669)	
役 務 取 引 等 収 益	2,321	
特 定 取 引 収 益	-	
そ の 他 業 務 収 益	397	
そ の 他 経 常 収 益	5,084	
経 常 費 用		24,226
資 金 調 達 費 用	2,678	
(うち預金利息)	(2,638)	
役 務 取 引 等 費 用	1,329	
特 定 取 引 費 用	-	
そ の 他 業 務 費 用	680	
営 業 経 費	13,204	
そ の 他 経 常 費 用	6,333	
経 常 利 益		4,727
特 別 利 益		715
特 別 損 失		530
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益		4,911
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		1,822
法 人 税 等 調 整 額		261
少 数 株 主 利 益		46
中 間 純 利 益		2,781

- 注 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 1株当たり中間純利益金額 24円48銭
3. 「その他経常費用」には、貸出金償却 969百万円、貸倒引当金繰入額 2,922百万円及び株式等償却 14百万円を含んでおります。
4. 「特別利益」には、償却債権取立益 715百万円を含んでおります。
5. 「特別損失」には、固定資産処分損 29百万円、減損損失 88百万円及び当中間連結会計期間の期首に計上すべき過年度相当額である役員退職慰労引当金繰入額 293百万円を含んでおります。
6. 当中間連結会計期間において、以下の資産グループについて営業キャッシュ・フロー及び継続的な地価の下落等により、割引前将来キャッシュ・フローの総額が帳簿価額に満たないことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額 88百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

場所	主な用途	種類	減損損失
群馬県	営業店舗1ヶ所	土地及び建物	88百万円

資産のグルーピングの方法は、営業店舗については、最小区分である営業店単位で、遊休資産については、各々個別に1単位としてグルーピングを行っております。

なお、当資産グループの回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローを4.57%で割り引いて算定しております。